

上下水道維持管理支援 ASP情報サービス

外崎道夫* 今村 誠**
道行泰代*
南部雅彦*

要 旨

上下水道事業の維持管理の効率化を支援するため、三菱電機は、従来から、①運転の自動化による省力化、②運転の広域統合化による省力化、③保全業務の情報化と広域集約による省力化、④状態監視保全による設備の延命等を目的とした技術開発を進めてきた。

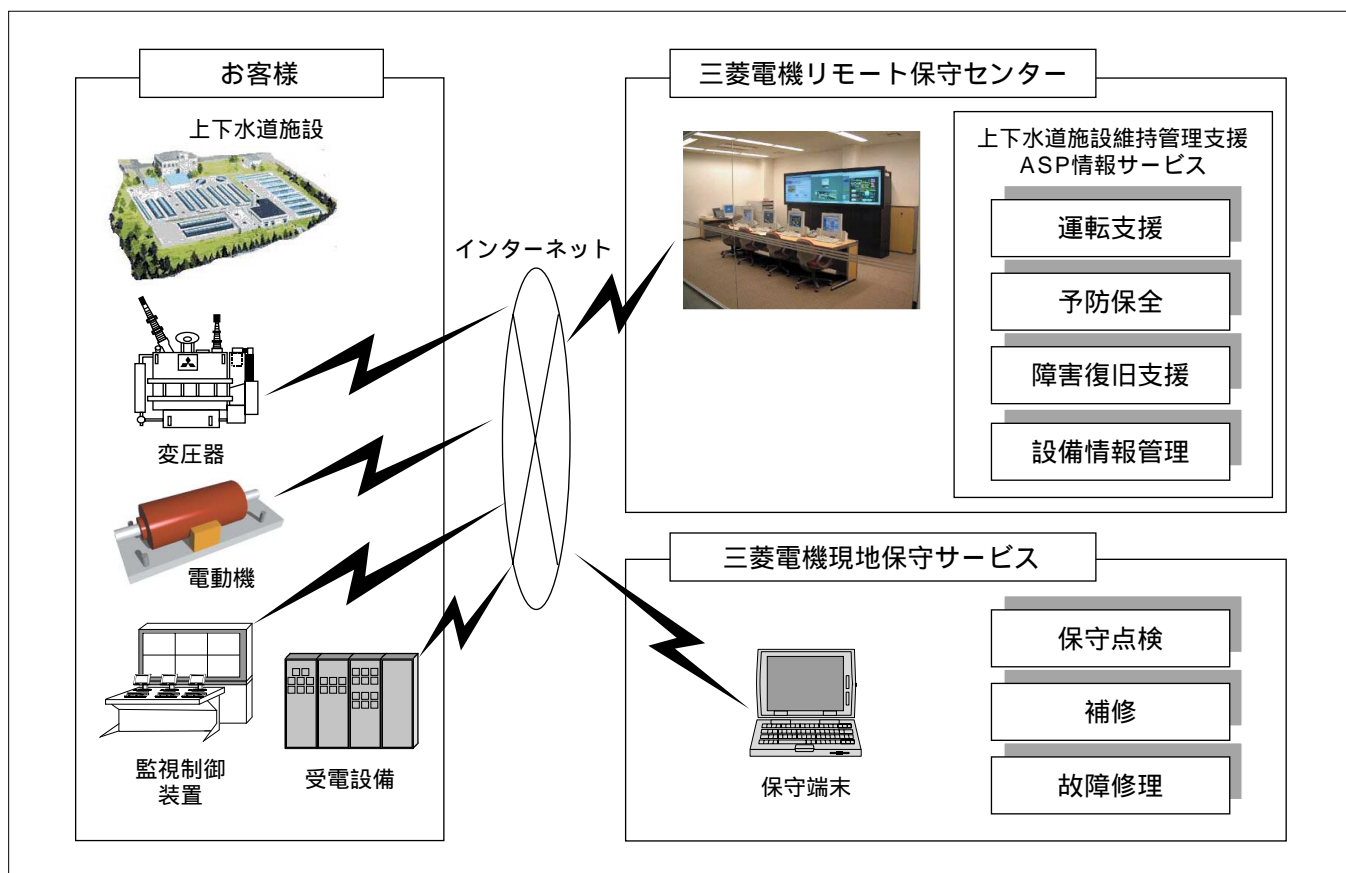
“上下水道維持管理支援ASP(Application Service Provider)情報サービス”は、これら当社が開発した維持管理効率化技術をASP型の情報アプリケーションとし、上下水道のお客様に向けて、リモート保守センターからインターネット経由で提供しようというものである。

本稿では、この上下水道維持管理支援ASP情報サービスの中から、特に予防保全サービスを用いることによる、時間計画保全から状態監視保全への移行と、設備情報を効

率的に管理することが可能なXML(eXtensible Markup Language)を応用した設備情報管理機能について紹介する。

予防保全サービスは、当社の電気設備の診断技術をベースに、上下水道施設の電気設備に取り付けたセンサ装置を使って、リモート保守センターから設備の状態を診断するサービスである。把握した設備状態を基準に、状態監視型の保全を実施することで、上下水道施設で用いられる設備の点検・補修・更新の頻度を低減することができる。

設備情報管理機能では、XMLを用いることで、上下水道設備のライフサイクルを通して、設備の情報を適切に蓄積して有効活用することを可能にし、また、管理する設備情報の項目に途中で変更があっても柔軟に対応することが可能になっている。



上下水道維持管理支援ASP情報サービス

当社が開発した維持管理効率化技術をASP型の情報アプリケーションとし、上下水道のお客様に向けて、リモート保守センターからインターネット経由で提供し、現地保守サービスとの組合せで上下水道の維持管理を効率化する。